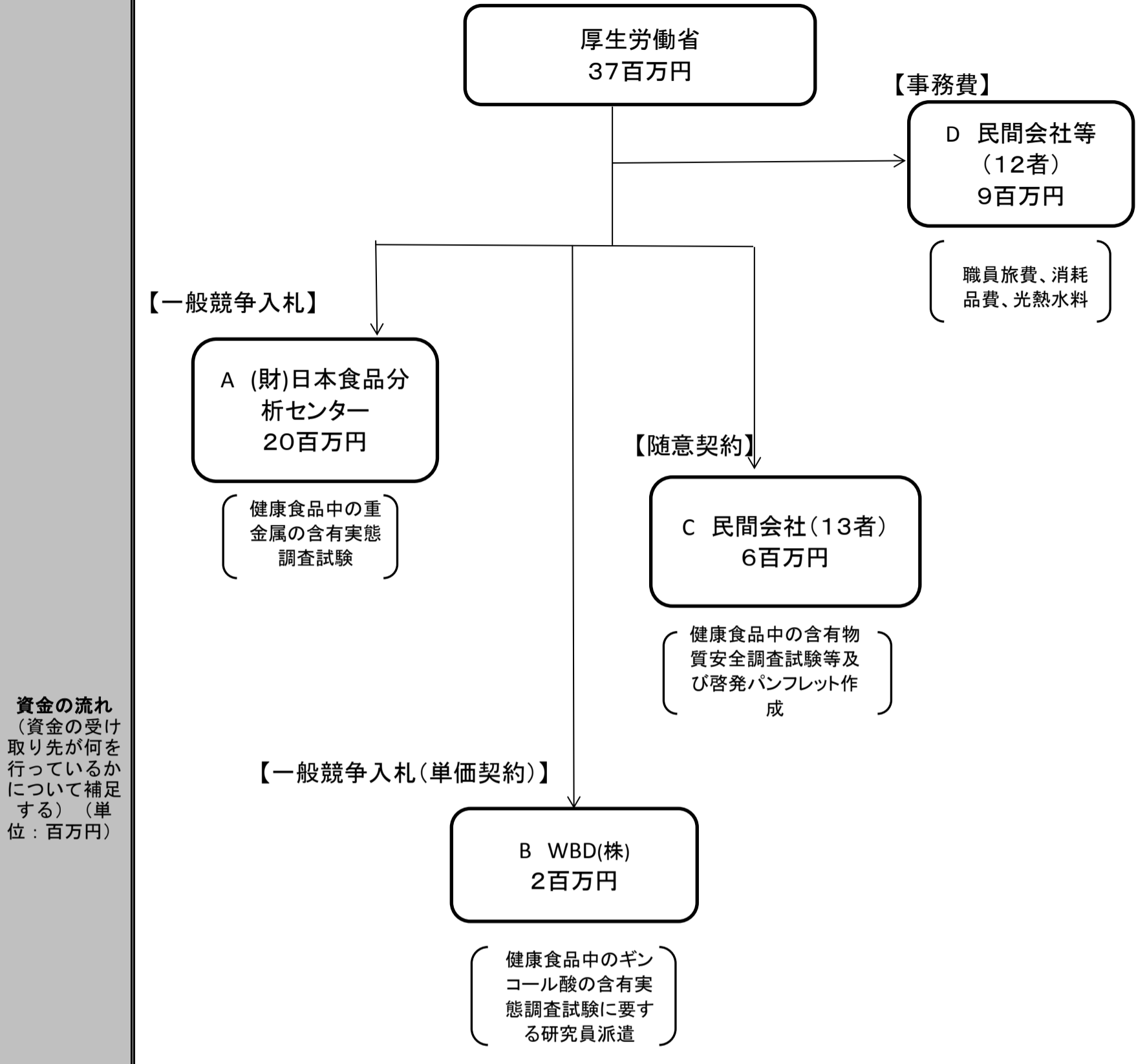


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	健康食品の安全性の確保等事業		担当部局庁	食品安全部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	基準審査課		森口 裕	
会計区分	一般会計		施策名	IV-4-1			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食品衛生法第7条		関係する計画、通知等	「健康食品・無承認無許可医薬品健康被害防止対応要領」(局長通知)、「錠剤、カプセル状等食品の適正な製造に関する基本的考え方」(部長通知)等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	多様化する健康食品による健康被害事例に対し、必要に応じ流通を禁止する等、迅速・適切に対応するとともに、市場に流通している健康食品において安全性が疑われる成分について、安全性試験を実施し、健康被害を未然に防止することにより食品の安全性を確保する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	健康食品による健康被害事例が発生した際、臨床医等の専門家を緊急に招集し、対応を検討するとともに、市場に流通している健康食品において安全性が疑われる成分について、安全性試験及び分析調査を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計	58	51	43	37	24
	執行額	5	15	37			
	執行率 (%)	8.7	30.2	86.8			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	健康食品の安全性確認のための試験検査を実施するとともに、パンフレットの配布及びホームページによる健康被害発生事例の情報提供を行い、健康食品が原因となる健康被害発生件数の減少を図る。(右表の達成度=年度目標値/成果実績*100%)		成果実績	件	22	27	16
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①健康食品の安全性確認のための試験検査の実施(6件) ②健康食品の正しい利用法に関するパンフレットの作成・配布による普及啓発		活動実績 (当初見込み)	件	—	—	6 ( 7 )
単位当たりコスト	約1.6(百万円/1検査件数)		算出根拠	○平成22年度 執行額(パンフレット作成経費除く)÷(活動実績+成果実績) 35,421千円÷(6+16)=1.6(百万円/件)			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.2	0.2	—			
	職員旅費	0.1	0.1				
	委員等旅費	0.4	0.4				
	庁費	0.4	0.4				
	食品等試験検査費	35	23				
	計	37	24				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	—
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>市場に流通している健康食品において安全性が疑われる成分について、安全性試験及び分析調査を実施しているが、より効率的な試験等が行えるよう、対象成分等の選定手法について検討を行う。</p> <p>また、本事業において作成したパンフレットは関係者に配布する他、厚生労働省のホームページにも掲載したが、今後とも一般消費者にも活用いただき、健康食品を安全に利用していただくことに努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	健康食品の安全性の確保等事業について、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	健康食品の安全確保のための試験について、事業実績を勘案し分析検査等を見直したことにより削減を図った。 (反映額: ▲12百万円)		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A. (財)日本食品分析センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	健康食品中に含まれる重金属類の含有実態調査試験	20	—	—	—
計		20	計		0
B. WBD(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	イチヨウ葉エキスを含む健康食品中のギンコール酸の含有量調査試験に要する研究員派遣	2	—	—	—
計		2	計		0
C. エーエムアール(株)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	質量分析用消耗品一式	1	—	—	—
計		1	計		0
D. (株)東京電力			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
需用費	電気料	2	—	—	—
計		2	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.一般競争入札

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本食品分析センター	健康食品中に含まれる重金属類の含有量実態調査試験	20	5	50.57%

B.一般競争入札(単価契約)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	WBD(株)	イチヨウ葉エキスを含む健康食品中のギンコール酸の含有量調査試験に要する研究員派遣	2	2	80.45%

C.随意契約

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エーエムアール(株)	質量分析用消耗品 一式	1	随意契約	
2	(株)太陽美術	健康食品パンフレット 20,000部印刷	0.9	随意契約	
3	(株)太陽美術	安全性パンフレット 35,000部印刷	0.9	随意契約	
4	日本アイ・ビー・エム(株)	青汁製品中のフロクマリン類の含有量調査試験に係る消耗品4点	0.5	随意契約	
5	岩井化学薬品(株)	青汁製品中のフロクマリン類の含有量調査試験に係る検査用消耗品15点	0.5	随意契約	
6	岩井化学薬品(株)	青汁製品中のフロクマリン類の含有量調査試験に係る検査用消耗品12点	0.4	随意契約	
7	岩井化学薬品(株)	青汁製品中のフロクマリン類の含有量調査試験に係る検査用消耗品1点	0.4	随意契約	
8	岩井化学薬品(株)	イチヨウ葉エキスを含む健康食品製品中のギンコール酸の含有量調査試験に係る検査用消耗品1点	0.4	随意契約	
9	岩井化学薬品(株)	イチヨウ葉エキスを含む健康食品製品中のギンコール酸の含有量調査試験に係る検査用消耗品1点	0.4	随意契約	
10	ナカライテスク(株)	青汁製品中のフロクマリン類の含有量調査試験に要する消耗品11点	0.2	随意契約	

D.事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京電力	電気料	2	随意契約	
2	(株)カラサワ	カラーレーザー複合機購入	0.6	随意契約	
3	(株)伊藤サプライ	デスクトップパソコン購入	0.4	随意契約	
4	BBソフトサービス(株)	パソコンソフト購入	0.3	随意契約	
5	BBソフトサービス(株)	パソコンソフト購入	0.3	随意契約	
6	(株)カラサワ	パソコン周辺機器購入	0.2	随意契約	
7	東京都水道局	水道料	0.1	随意契約	
8	東京ガス(株)	ガス料	0.1	随意契約	
9	(株)カラサワ	複合機 感光体ユニット購入	0.1	随意契約	
10	(株)エコム・ソリューションズ	通信料	0.09	随意契約	